



あるじゃん

貯蓄プランニングシート

STEP1~3の説明に沿ってどんどん書き込んでみよう。
目標と計画が明確になれば、貯まるスピードも格段にアップ!

STEP 1

いま持っているお金を棚卸する

評価額を
書いてね

●安全商品

金融機関名	商品名	金額
星銀行	普通預金	30万円
	定期預金①	120万円
	定期預金②	80万円
花銀行	貯蓄預金	50万円
		万円
		万円
蝶銀行	普通預金	20万円
	定期預金	50万円
		万円
鳥保険	一次払い学資 保険	50万円
		万円
		万円
		万円
合計		400万円

●投資商品

金融機関名	商品名	金額
山証券 (日本株)	三井物産	15万円
	伊藤園	13万円
	全日空	25万円
山証券 (投信)	日経225連動	5万円
	MRF	10万円
		万円
川証券	日産(社債)	100万円
	米ドルMMF	14万円
	MFF	10万円
海金属	純金積立	6万円
		万円
		万円
合計		198万円

Point
こども(学資)保険や個人
年金保険はこちら。金額
の欄は満期金額を書く

STEP 2

貯蓄の目標を書き出して、あといくら必要か割り出す

①使う時期が決まっている

目標	使う時期	必要な金額	いまあるお金	不足額
住宅の頭金	7年後	700万円	200万円	500万円
車の買い替え	2年後	130万円	130万円	0万円
家族旅行	5年後	50万円	20万円	30万円
長男学費	15年後	300万円	50万円	250万円
長女学費	17年後	300万円	0万円	300万円
	年後	万円	万円	万円
	年後	万円	万円	万円



Point
使う時期が早いものから優先して、STEP1の安全商品の金額を振り分けていく

②使う時期が未定

目標	必要な金額	いまあるお金	不足額
老後資金	3000万円	164万円	2836万円
	万円	万円	万円
	万円	万円	万円
	万円	万円	万円

Point
10年以上先の目標なら、STEP1の投資商品の金額を振り分ける。売却を考えているなら、現金化して①に振り分けてもOK

STEP 3

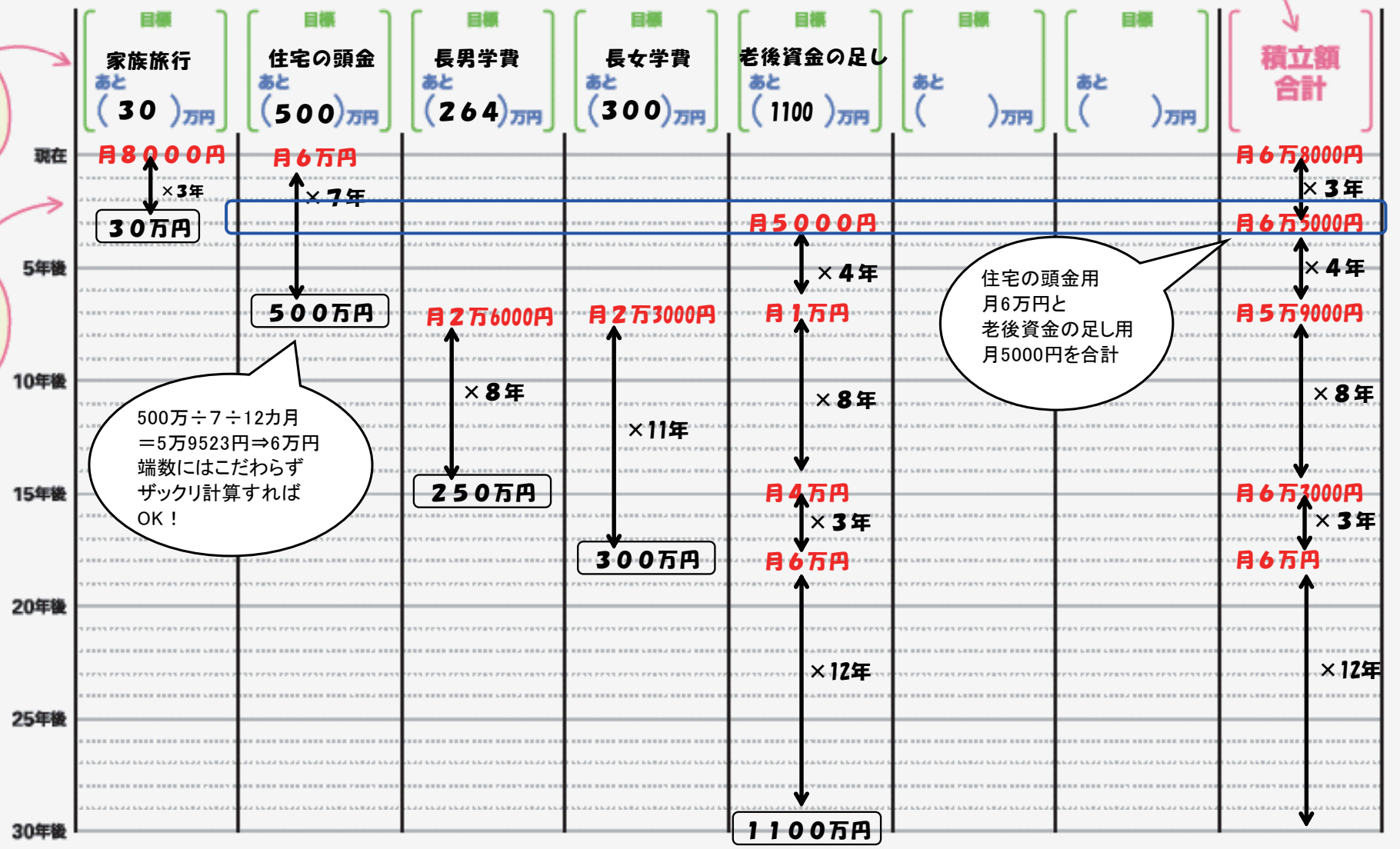


足りないお金をどう貯めるかプランを立てる

Point
 時期ごとの積立額の合計を出す。積立額が高すぎるなら、貯蓄プランに無理がないか見直そう

Point
 STEP2に挙げた目標のうち、使う時期の早いものから順に書き出してこう

Point
 目標ごとに、貯めたい金額を月数で割って月々の積立額を算出し、図にしてみる



500万 ÷ 7 ÷ 12カ月
 = 5万9523円 ⇒ 6万円
 端数にはこだわらず
 ザックリ計算すれば
 OK!

住宅の頭金用
 月6万円と
 老後資金の足し用
 月5000円を合計

